

自己評価公表シート

令和6年度 第2回 津山社会福祉事業会 津山保育園

1. 本園の保育目標

子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。

1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。
2. 豊かな生活経験のなかから基本的な生活習慣を身につける子どもを育てます。
3. 安定した気持ちで様々な活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。
4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育について 保育理念・事業所目標の理解をした上で、職員が連携して「子どもの最善の利益の尊重」を最優先して保育を行う。	岡山県社会福祉士会第三者評価を受審し、理念等について職員全体で振り返りを行った。園内研修で毎月目標をあげており、具体的に職員から報告されるようになり、共有が深まった。保護者アンケートでは、職員の態度や行事の持ち方について意見が寄せられており、どのように対応していくか検討をしている。
職務について 自分の職務や役割分担を理解し、安心安全な保育について、職員間で連携を取りながら責任を持ち意欲的に取り組む。	役割について、定期的に進捗状況の確認をしている。経験の浅い職員は、経験のある職員と組んで経験することにより、手順を知り自主的に行動する姿が見られている。勤務形態の変化でフルタイム出勤ができる職員が少なくなっており、負担を減らす必要がある。
資質向上について 保育士・栄養士等人間性と専門性の向上のため、一人ひとりが目標を持ち、保育の質を高める。	年間教育研修計画により、市や保育協議会等の外部研修や大学講師を園内に招いてディスカッションを行った。研修にて、専門講師の話や他者と意見交換をすることにより、気づきが見られている。職員全体での周知が課題である。また、感染症に関する研修を全員に実施して衛生管理に努めている。
その他 信頼される保育園として、保護者、地域、専門機関との連携を図る。	園として運動会・発表会・保育参観等、父母の会では大掃除、交通査察、虹っ子まつり等実施した。今年度は、災害発生時に隣事業所を二次避難場所として利用できるよう美作県民局へ避難訓練を実施した。また、年長児は地域のシニアクラブの方と交流を図った。

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
子どもの主体性を尊重した保育の計画を行う。	主体性を育む保育について一人ひとりの発達に合わせた保育をするために、保育者間で確認する場を持つ。次年度も外部講師に来ていただき、保育現場での関りについて学ぶ機会を持ちたい。また、保育の内容について保護者にわかりやすく伝える方法を課題としたい。
全職員の共通理解と現状に合わせた職務の遂行に努める。	業務の効率化について、行事内容や登降園システム導入後の進め方について検討する。保育と食育両方の計画について、それぞれの現場から意見交換を行い、連動して進められるようにしていく。
全ての職員の資質向上に努める。	研修計画にて、できるだけ多くの職員が多方面の研修に参加できるよう調整する。研修内容は報告後、回覧して、職員全体で向上できるようにする。感染症に関する研修については定期的に実施して、衛生面に関する意識を強化していく。
保護者、地域、小学校との連携を図り、子どもが安全に安心して過ごせるようにする。	父母の会役員、職員双方が話し合い、園と親子が交流できる内容について検討する。また、防災に備えて次年度は水害についても地域の機関と連携を深めていく。保護者と引き渡し訓練を行いたい。東小学校等と連携をとり交流を含め、就学への接続が無理なく行えるようにしていく。次年度も、地域のシニアクラブの方と交流を予定している。